令 和 ７ 年 度

# 深浦町教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書

—令和６年度の実績—

令　和　７　年　９　月

深 浦 町 教 育 委 員 会

# 目　　次

Ⅰ　教育委員会事務の点検及び評価について・・・・・・・　1

Ⅱ　教育委員会の活動について・・・・・・・・・・・・・・　3

令和６年度　深浦町教育施策の方針・・・・・・・・・・　4

施策別重点項目事務事業一覧・・・・・・・・・・・・・　5

令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表・・・　8

○教育課　学務係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

○教育課　社会教育係・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

○深浦町公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

○深浦町公民館岩崎分館・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

○深浦町公民館大戸瀬分館・・・・・・・・・・・・・・・　１３

○深浦町歴史民俗資料館・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

○深浦町美術館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

○太宰の宿　ふかうら文学館・・・・・・・・・・・・・・　１４

## Ⅰ　教育委員会事務の点検及び評価について

### １　事務点検及び評価の考え方

⑴　趣　旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定に基づき、教育委員会では、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、達成度・必要度・方向性等を自ら点検評価を行い、今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進を図っていきます。

また、結果に関する報告書を作成し、町議会へ提出するとともに町民にも公表することにより、説明責任を果たし信頼される教育行政を推進することを目的としています。

⑵　点検・評価の方法

①　深浦町教育施策の方針

町教育委員会では、毎年度「深浦町教育施策の方針」を定めるとともに、学校教育行政、社会教育行政、社会体育行政及び文化財保護行政などの各施策別に方針と重点項目を定め、具体的な事業を展開しています。

②　点検・評価の対象

今年度においての点検・評価にあたっては、昨年度に実施した施策別重点項目事務事業一覧に基づく主要事務事業を対象に実施しています。

各担当者が一次評価を実施し、教育課長が総合的な評価を行い教育長に提出します。

教育長は、「事務の点検・評価アドバイザー」を委嘱し、点検・評価の実施方法及び内容等について意見を求めるとともに、点検・評価の結果に関する報告書（案）を作成し、教育委員会で審議し議決を求めます。

◇令和５年度教育委員会事務事業点検・評価表シート

達成度：５区分で評価

「未達成」「期待以下」「ほぼ達成」「期待どおり」「期待以上」

必要度：５区分で評価

「低い」「やや低い」「普通」「やや高い」「高い」

方向性：５区分で判断

「廃止・休止」「縮小」「整理統合」「継続」「拡大」

### ２　学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「点検・評価アドバイザー会議」を開催し、学識経験者等の「点検・評価アドバイザー」からその実施方法や内容について意見をいただき、これを参考に点検・評価の実施と報告書の作成を行いました。

⑴　点検・評価アドバイザー

| 氏　　名 | 役　職　等 |
|---|---|
| 葛西　　清 | 葛西整骨院長 |
| 菊池久美子 | 元修道小学校長 |
| 渋谷　明子 | めぐみ子ども園長 |

⑵　点検・評価アドバイザー会議の開催状況

・令和７年７月２４日開催
・アドバイザー委嘱３名
・「事務の点検及び評価について」説明
・報告書（原案）に関する意見

⑶　点検・評価アドバイザーからの主な意見

①　学校教育行政について

・ 教育委員の学校訪問について、訪問事業としては時間を短縮して行っているようですが、教育委員は、いつ学校に来ていただいても良いように、オープンに行ったり来たりできる環境になればいいと考えます。

・ 児童生徒のスマートフォン等の利用について、トラブルが生じないように児童生徒や家庭への取組を継続していただきたい。

②　社会教育行政について

・ スポーツ講座事業のウォーキング、軽スポーツフェスティバルについて、開催する曜日や会場を変えてみるなど、今まで参加していない層が参加しやすいような工夫をしてみてはどうか。

③　公民館事業について

・ 町小中学校俳句大会事業について、長らく同じ事業を行っていますが、違う取組も検討してはどうか。

## Ⅱ　教育委員会の活動について

### １　教育委員の構成

教育委員名簿（４人、任期４年）

| 職　名 | 氏　　名 | 任　　期 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 委　　員 | 相　馬　真　司 | R6.5.14<br>～R10.5.13 | 教育長職務代理者<br>就任　H29.5.14 |
| 委　　員 | 海　浦　由羽子 | R5.5.14<br>～R9.5.13 | 再　任 |
| 委　　員 | 安　田　信　樂 | R4.5.14<br>～R8.5.13 | 再　任 |
| 委　　員 | 中　村　真衣子 | R7.5.14<br>～R11.5.13 | 再　任 |

### ２　教育委員会の活動状況

深浦町教育委員会の会議は、原則として公開します。

また、月毎の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、教育長及び４人の委員が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに重要事項について事務局から報告を受けています。

⑴　教育委員会会議開催状況

開催回数　　定例会　１２回
審議件数　　３５件
報告件数　　４０件
協議件数　　２件

⑵　その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議への出席以外に、町主催の各種行事や教育委員会及び学校関係の行事等へ出席しています。

【主な行事】

町　　関　　係：山開き・海開き安全祈願祭、無縁仏供養会ほか
教育委員会関係：20才を祝う会、文化賞・スポーツ賞表彰式ほか
学　校　関　係：小・中学校入学式・卒業式、小・中学校訪問、町校長会ほか

令和６年度

# 深浦町教育施策の方針

深浦町教育委員会は、青森県教育施策の方針をふまえ、ふるさとに対する誇りを持ち、心豊かで新しい時代を主体的に切り拓く人づくりに努める。

また、豊かな自然を生かした魅力ある町づくりを推進し、住民が互いに学びあい、共に成長し合う「共育」のまちづくりに取り組む。

そのために、

「知・徳・体」の充実と、夢や希望を育む学校教育

生涯学習の充実と心触れ合う社会参加を実現する社会教育

郷土の自然・歴史と伝統に触れ、未来へ伝える文化活動

健康を増進し、喜びと感動を生み出すスポーツ活動

等の施策を、関係機関・団体との連携を図りながら推進する。

**平成２６年２月２１日　決定**

# 施策別重点項目事務事業一覧

| 施策分野 | 重点項目 | 事　務　事　業 | 評価担当係 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　教育委員組織 | | | |
| | ⑴教育委員会の活動 | 1　教育委員会会議の開催 | 学務係 |
| | | 2　教育委員会事務局との連携 | 学務係 |
| | | 3　教育委員の学校訪問 | 学務係 |
| | | 4　校長会合同研修会への参加 | 学務係 |
| Ⅱ　学校教育指導の方針と重点 | | | |
| | ⑴授業の充実 | 5　学校管理事業 | 学務係 |
| | | 6　教育施設営繕事業 | 学務係 |
| | | 7　学校評議員設置事業 | 学務係 |
| | | 8　特別支援教育支援員配置事業 | 学務係 |
| | | 9　学校用図書備品整備事業 | 学務係 |
| | | 10　ICT環境整備事業 | 学務係 |
| | | 11　要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金事業 | 学務係 |
| | | 12　スクールバス運転管理事業 | 学務係 |
| | | 13　へき地児童生徒援助費等補助金事業 | 学務係 |
| | ⑵体育、健康教育の充実 | 14　学校保健及び学校環境衛生事業 | 学務係 |
| | | 15　児童生徒及び教職員健康管理事業 | 学務係 |
| | | 16　日本スポーツ振興センター事業 | 学務係 |
| | | 17　中学校体育奨励事業 | 学務係 |
| | | 18　学校給食運営事業 | 学務係 |
| | ⑶生徒指導の充実 | 19　生活指導協議会事業 | 学務係 |
| | | 20　特別支援教育研究事業 | 学務係 |
| | ⑷特別支援教育の充実 | 21　教育支援委員会事業 | 学務係 |
| | ⑸国際化に対応する教育の推進 | 22　外国青年招致事業（ＪＥＴプログラム事業） | 学務係 |
| | ⑹情報化に対応する教育の推進 | 23　情報教育の推進事業 | 学務係 |
| | | 24　校務支援 | 学務係 |
| | ⑺教育環境の整備 | 25　高等教育修学支援資金貸付事業 | 学務係 |
| | | 26　高校生等通学支援事業 | 学務係 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅲ　社会教育行政の方針と重点 | | | |
| | ⑴多様な学習機会の充実 | 27 深浦町小学生「生きる力」育成研修会 | 社会教育係 |
| | | 28 町民講師「ふかうら達人倶楽部」活用事業 | 社会教育係 |
| | | 29 生涯学習フォーラム事業 | 社会教育係 |
| | | 30 木造高校深浦校舎利活用検討事業 | 社会教育係 |
| | ⑵家庭教育の充実 | 31 スポーツ講座事業 | 社会教育係 |
| Ⅳ　社会体育行政の方針と重点 | | | |
| | ⑴健康づくり・スポーツの充実 | 32 体育施設管理事業 | 社会教育係 |
| | | 33 町立小・中学校の施設の開放事業 | 社会教育係 |
| Ⅴ　文化財保護行政の方針と重点 | | | |
| | ⑴文化財保護・伝統芸能継承の促進と啓発活動の充実 | 34 文化財保護事業 | 社会教育係 |
| | | 35 文化財保護団体の育成支援事業 | 社会教育係 |
| | ⑵巨樹・古木保存活動の充実 | 36 巨樹・古木保存事業 | 社会教育係 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅵ | 公民館活動の方針と重点 | | |
| | ⑴深浦町公民館活動の充実 | 37 深浦町小中学校俳句大会事業 | 深浦公民館 |
| | | 38 文化祭及び作品展示事業 | 深浦公民館 |
| | | 39 各種教室・講座開催事業 | 深浦公民館 |
| | ⑵深浦町公民館岩崎分館・大戸瀬分館活動の充実 | 40 文化祭作品展事業 | 岩崎分館 |
| | | 41 生涯学習事業 | 岩崎分館 |
| | | 42 図書活動事業 | 岩崎分館 |
| | | 43 社会文化会館の施設活用 | 岩崎分館 |
| | | 44 ふれあいと創造の館の施設活用 | 岩崎分館 |
| | | 45 文化祭作品展事業 | 大戸瀬分館 |
| Ⅶ | 歴史民俗資料館活動の方針と重点 | | |
| | ⑴歴史民俗資料館活動の充実 | 46 歴史民俗資料館運営事業 | 歴史民俗資料館 |
| | | 47 歴史教室開催事業 | 歴史民俗資料館 |
| Ⅷ | 美術館活動の方針と重点 | | |
| | ⑴美術館活動の充実 | 48 美術館運営事業 | 美術館 |
| | | 49 絵画コンクール開催事業 | 美術館 |
| Ⅸ | ふかうら文学館活動の方針と重点 | | |
| | ⑴太宰の宿ふかうら文学館活動の充実 | 50 文学館運営事業 | ふかうら文学館 |
| | | 51 図書活動事業 | ふかうら文学館 |
| | | 52 子ども司書養成講座事業 | ふかうら文学館 |

## 令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表

| No. | 事　務　事　業　名 | 担当係 | 達成度 | 必要度 | 方向性 | 総合点検及び評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 教育委員会会議の開催 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 年間定例会１２回実施し、３５件の審議ほか、報告や協議も含め適切に審議を行った。<br>今後も教育に関する審議案件について適切に対応したい。 |
| 2 | 教育委員会事務局との連携 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 教育委員会と教育課等との情報を共有し連携を密にすることができ、概ね順調であった。 |
| 3 | 教育委員の学校訪問 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 町内小中学校の訪問を２日間の日程で行った。<br>管内各校とも町教委の示した方針と重点に基づき学校運営がなされていることを確認できた。今後も継続していきたい。 |
| 4 | 校長会合同研修会への参加 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 校長会が町長と教育委員会を招待し、学校教育の現状を報告し、今後の教育の在り方について研修会が行われた。 |
| 5 | 学校管理事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 町内小中学校５校における学校運営の安全管理に努めた。今後も学校と連携しながら学校管理に努めたい。 |
| 6 | 教育施設営繕事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 学習環境の改善及び電気量の削減のため、ＬＥＤの整備を実施し児童生徒の安全と保全に努めた。 |
| 7 | 学校評議員設置事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、各校の推薦に基づき学校評議員を委嘱した。<br>評議員の意見は、地域連携の部分で学校経営上の参考となる点が多い。また、この会議がきっかけで学校が地域と連携した教育活動を展開するケースもあり、学校と地域がつながる貴重な場と考えている。 |
| 8 | 特別支援教育支援員配置事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 通常の学級に在籍する教育上特別な支援を要する児童生徒を中心に、個々に応じた適切な支援を行うため、支援員を管内小・中学校に配置した。<br>特別支援学級在籍者が交流学習として通常の学級で学習する際に支援することも担っている。各校では支援員は運営上、欠かせないものであり、今後も事業継続の必要性は極めて高い。 |
| 9 | 学校用図書備品整備事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 学校図書充足率は年々向上しているものの、各校とも未だ低いことから、図書購入費を令和２年度から300千円に増額し整備を進めている。今後も継続的に進めていきたい。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 達成度・・１＝未達成 | ２＝期待以下 | ３＝ほぼ達成 | ４＝期待どおり | ５＝期待以上 |
| 必要度・・１＝低い | ２＝やや低い | ３＝普通 | ４＝やや高い | ５＝高い |
| 方向性・・１＝廃止・休止 | ２＝縮小 | ３＝整理統合 | ４＝継続 | ５＝拡大 |

## 令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表

| No. | 事　務　事　業　名 | 担当係 | 達成度 | 必要度 | 方向性 | 総合点検及び評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | ＩＣＴ環境整備事業 | 学務係 | 4 | 5 | 5 | 各学校の１人１台端末の活用を支援するため、各学校に電子黒板を追加整備したほか、小学校1･2･3年生に天板拡張器具を整備した。また、ICT環境の推進を図るため会議を開催し、各学校の意見や要望等を傾聴した。 |
| 11 | 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 小中学校児童生徒の中で、要保護及び準要保護児童生徒の就学援助の一環として、学用品・給食費等の扶助費を支給した。また、令和元年度から開始した「新入学学用品費」の入学前支給を継続して行った。 |
| 12 | スクールバス運転管理事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 平成２８年度から（株）ふかうら開発へ当該事業を委託し、登下校時の運転業務を中心に、校外行事等への送迎も行った。<br>今後も児童生徒数の減少など将来を見据えた運行方法の検討を常に行い、利便性の向上、効率的な運行の両立を目指していく。 |
| 13 | へき地児童生徒援助費等補助金事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | へき地補助金の対象となる事業（医師派遣事業、心臓検診、スクールバス購入事業）については、制度を最大限活用している。 |
| 14 | 学校保健及び学校環境衛生事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 学校保健、学校環境衛生を保つため、各種検査・点検を計画的に実施し、学習環境の衛生管理に努めた。 |
| 15 | 児童生徒及び教職員健康管理事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 学校保健安全法に基づき児童生徒・教職員の健康診断の実施と事後措置を行うことにより、健康状態を把握し疾病等の早期発見・早期治療を勧め、健康管理、保持増進を図った。<br>令和２年度から行っている胃がん検診と、ストレスチェックを継続して行った。 |
| 16 | 日本スポーツ振興センター事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 児童生徒の不慮の災害に備えて、同センターの災害共済給付契約を結び、学校管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者に対して行っている。 |
| 17 | 中学校体育奨励事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 中体連大会等県大会以上の大会に出場する学校に対して経費の助成を行い、保護者負担の軽減を図り、中学校スポーツの振興を図っている。<br>大会では、顕著な成績を収めた。 |
| 18 | 学校給食運営事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 「食」を通した生活習慣の形成を図ることを目的に児童生徒への安全で安心な学校給食の提供及び運営に努めた。<br>食料品の高騰の影響を踏まえ、一食あたりの単価の値上げを実施した。<br>１０月からは、県の交付金を活用し児童生徒分の無償化を実施した。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 達成度・・１＝未達成 | ２＝期待以下 | ３＝ほぼ達成 | ４＝期待どおり | ５＝期待以上 |
| 必要度・・１＝低い | ２＝やや低い | ３＝普通 | ４＝やや高い | ５＝高い |
| 方向性・・１＝廃止・休止 | ２＝縮小 | ３＝整理統合 | ４＝継続 | ５＝拡大 |

## 令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表

| No. | 事　務　事　業　名 | 担当係 | 達成度 | 必要度 | 方向性 | 総合点検及び評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 生活指導協議会事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 学校と関係機関及び団体が連携し、地域ぐるみで児童生徒への非行防止や長期休業中の安全指導体制の充実を図った。ゲーム、ＳＮＳなどを発端に生徒指導上の問題へ発展している例が町内でも確認されており、情報を共有しながら未然防止や迅速な初期対応に努めた。 |
| 20 | 特別支援教育研究事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 教育上、特別な支援を必要とする児童及び生徒を対象に一人一人のニーズに応じた適切な支援ができるよう研究・研修に努めた。<br>また、町内小・中学校の特別支援教育コーディネーター等が日々の実践等を情報交換できる機会を３回設けた。 |
| 21 | 教育支援委員会事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 就学予定者、すでに在学している学齢児童生徒のうち、障害が疑われたり、日々の生活での困り感を抱えていると推察される児童生徒のため、教育内容や方法を適切に選択できるよう保護者等に助言するために、対象児の障害の種類・程度、必要な教育支援について専門的な立場から調査や審査を行い、教育委員会に答申した。<br>対象者の現況把握のため、公認心理師に教育心理学的調査を継続して依頼しており、客観的な指標を基に対象児の理解と配慮事項の検討、関係者への確実な伝達に努めた。 |
| 22 | 外国青年招致事業<br>（ＪＥＴプログラム事業） | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 中学生を対象に国際感覚の育成、語学力の向上を目的として、さらに、小学校での外国語科に対応するため、２名の外国青年を招致している。外国に対する興味・関心を深め、コミュニケーション能力を高めるために欠かせない事業である。<br>令和６年度は、小学校及び保育園を担当する新規招致者が滞りなく来日することができた。 |
| 23 | 情報教育の推進事業 | 学務係 | 4 | 4 | 4 | ＳＮＳでのトラブルを未然に防ぐため、児童生徒に対しての啓発活動だけでなく、保護者に対しても参観日を利用しての講習会等を開催した。 |
| 24 | 校務支援 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 管内小中学校の事務を円滑に進めるため、校内ＬＡＮを構築し運用している。今後もシステムを運用するため保守を行った。<br>業務の効率化や負担軽減、校務の情報化を図るため、校務支援システムの一部を導入している。 |
| 25 | 高等教育修学支援資金貸付事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 高等教育に励み、より高度な教育技術の錬成に努める者を支援するため、奨学金を貸与している。借入者数については横ばいとなっている。<br>Ｒ2(5人)、Ｒ3(3人)、Ｒ4(3人)、Ｒ5(5人)、Ｒ6(6人) |
| 26 | 高校生等通学支援事業 | 学務係 | 4 | 5 | 4 | 当町の独自施策で、令和３年度から事業を実施。<br>当町に在住する高等学校等の生徒の保護者に対し、通学費用等を助成した。親元を離れ、寮や下宿、アパート等から通う生徒も対象としている。<br>一人あたり30,000円（年額）を支給した。<br>対象者：１１３名（３，３９０千円） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 達成度・・１＝未達成 | ２＝期待以下 | ３＝ほぼ達成 | ４＝期待どおり | ５＝期待以上 |
| 必要度・・１＝低い | ２＝やや低い | ３＝普通 | ４＝やや高い | ５＝高い |
| 方向性・・１＝廃止・休止 | ２＝縮小 | ３＝整理統合 | ４＝継続 | ５＝拡大 |

## 令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表

| No. | 事　務　事　業　名 | 担当係 | 達成度 | 必要度 | 方向性 | 総合点検及び評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 深浦町小学生「生きる力」育成研修会 | 社会教育係 | 3 | 5 | 4 | 子どもたちが現代の便利な日常から離れ、自然の中で共同生活を行うことにより、自主性や協調性を養い、たくましく「生きる力」を身に付けるため、アドベンチャーキャンプを実施した。<br>令和６年度は十二湖エコミュージアムにおいて、火おこし、炊飯、バーベキュー、テント設営、牛乳パックとうろうづくり、花火、朝食（かまあげうどん）、モルックづくり、モルック大会を実施した。参加者２４名。 |
| 28 | 町民講師「ふかうら達人倶楽部」活用事業 | 社会教育係 | 3 | 4 | 4 | 町内に在住する住民の中から専門的知識や特殊な技術を持っている人を発掘し、広く町民の学習機会の際に活用を図り、生涯学習の一層の資質向上と地域教育力の向上を図るため実施した。<br>延べ利用者数４３名。更なる利用促進を図っていきたい。 |
| 29 | 生涯学習フォーラム事業 | 社会教育係 | 5 | 4 | 4 | 文学や読書に親しむ心と郷土への愛着心を育むため、関診療所での勤務経験を持つ医師で芥川賞作家の朝比奈秋氏を講師に迎え、『深浦町と私』と題した講演や、町の朗読ボランティアによる氏の作品の朗読等を行った。<br>町内外から１８９名の参加をいただき、盛況のうちに終えることができた。 |
| 30 | 深浦校舎利活用基本設計業務委託事業 | 社会教育係 | 4 | 5 | 4 | 令和４年度末で閉校した旧青森県立木造高等学校深浦校舎を町の社会教育・生涯学習の拠点施設として利活用するため整備計画を進めている。令和９年度１０月の開館に向け、校舎の改修工事に係る基本設計業務を令和６年度に実施した。 |
| 31 | スポーツ講座事業 | 社会教育係 | 4 | 5 | 4 | 【ふかうら歴史探訪ウォーキング】<br>参加者の健康促進や運動不足解消、参加者同士の交流を深めることを目的として実施。深浦地区約3.5㎞を解説をしながら散策。　参加者１５名<br>【森山海岸ウォーキング】<br>参加者の健康増進や運動不足解消を目的に実施。森山海岸、不動の滝の散策。参加者１３名<br>【十二湖歩くスキー＆トレッキング】<br>冬期間の運動不足の解消と、十二湖の冬景色を楽しみながら、参加者同士の交流を深めることを目的として実施。十二湖周辺を歩くスキー及びトレッキング体験後、昼食会をした。参加者１３名<br>【軽スポーツフェスティバル】<br>全町民を対象に軽スポーツの普及とスポーツ活動の推進することを目的として開催。体力・運動能力調査と軽スポーツ２種目（ラダーゲッター、モルック）を実施した。　参加者２５名 |
| 32 | 体育施設管理事業 | 社会教育係 | 4 | 4 | 4 | 町民の体力向上と健康増進を目的として、町民体育館・武道館の修理し、維持管理に努めた。 |
| 33 | 町立小・中学校の施設の開放事業 | 社会教育係 | 4 | 4 | 4 | 管内小学校の体育館を開放し、地域住民や児童生徒のスポーツ活性化及び健康増進を図った。<br>【利用団体】<br>修道小学校（野球、卓球）<br>いわさき小学校（ソフトバレー、バドミントン、野球） |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 達成度・・１＝未達成 | ２＝期待以下 | ３＝ほぼ達成 | ４＝期待どおり | ５＝期待以上 |
| 必要度・・１＝低い | ２＝やや低い | ３＝普通 | ４＝やや高い | ５＝高い |
| 方向性・・１＝廃止・休止 | ２＝縮小 | ３＝整理統合 | ４＝継続 | ５＝拡大 |

## 令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表

| No. | 事　務　事　業　名 | 担当係 | 達成度 | 必要度 | 方向性 | 総合点検及び評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 文化財保護事業 | 社会教育係 | 4 | 5 | 4 | 指定文化財の保護や普及啓発に関する事業を行った。奈良文化財研究所等の協力により、国重文の円覚寺薬師堂内厨子落書きの調査を行った。今後も指定文化財保護事業を計画的に実施する。 |
| 35 | 文化財保護団体の育成支援事業 | 社会教育係 | 4 | 5 | 4 | 郷土芸能伝承活動を行っている団体に対し補助金を交付し、団体の育成及び郷土芸能伝承・保存に努めた。<br>後継者不足が深刻化しているため、後世に残していくための手段を探ることが今後の課題。 |
| 36 | 巨樹・古木保存事業 | 社会教育係 | 4 | 5 | 4 | 美しい自然の緑が人々の心にうるおいをもたらす巨樹・古木又は樹林を郷土の象徴としていつもまでも保存するための事業を行った。<br>緑の募金事業を活用し、関八幡宮のヤチダモの土壌改良業務等を行った。 |
| 37 | 深浦町小中学校俳句大会事業 | 深浦町公民館 | 3 | 5 | 4 | 当町の次代を担う小中学生の斬新な発想と素直な目から生まれる句を募集し、地域文化振興の基となる「小中学校俳句大会」を実施した。　管内小学生82名、中学生75名の参加があった。 |
| 38 | 文化祭及び作品展示事業 | 深浦町公民館 | 3 | 4 | 4 | 町民の文化活動の成果として、サークルや教室・講座の日頃の作品を披露し、文化の香り高い町づくり推進のため実施した。<br>深浦町公民館文化祭作品展<br>令和６年１１月２日（土）～３日（日）<br>入場者数：３５０人<br>【内容】<br>展示物：７９５点<br>出品者数：２２団体、７個人<br>陶芸体験２０人参加 |
| 39 | 各種教室・講座開催事業 | 深浦町公民館 | 3 | 4 | 4 | 町民とふれあい・交流を深めることにより、文化の振興と指導者の育成に努めるため開催した。<br><br>○レベルアップ教室<br>・編み物教室、パッチワーク教室<br>○運動教室<br>・ヨガ教室、ズンバ体験教室<br>○環境学習、食育講座（３小学校）４０人参加<br>○親子ふれあい教室（幼児を持つ親子）<br>１２家族３７人参加<br>○本館を拠点として活動しているサークル団体<br>（１５団体） |
| 40 | 文化祭作品展事業 | 公民館岩崎分館 | 3 | 4 | 4 | 食堂、作品展示、各種販売を行った。<br>また、屋外では男鹿なまはげ太鼓、しらかみ黒龍IWASAKIのよさこい演舞を披露した。<br>深浦町公民館岩崎分館文化祭作品展<br>令和６年１１月２日（土）～３日（日）<br>入場者数：３７５人<br>【内容】<br>展示物：４１９点<br>出品者数：１３団体、１７個人 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 達成度・・１＝未達成 | ２＝期待以下 | ３＝ほぼ達成 | ４＝期待どおり | ５＝期待以上 |
| 必要度・・１＝低い | ２＝やや低い | ３＝普通 | ４＝やや高い | ５＝高い |
| 方向性・・１＝廃止・休止 | ２＝縮小 | ３＝整理統合 | ４＝継続 | ５＝拡大 |

## 令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表

| No. | 事　務　事　業　名 | 担当係 | 達成度 | 必要度 | 方向性 | 総合点検及び評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 41 | 生涯学習事業 | 公民館<br>岩崎分館 | 3 | 3 | 4 | 地域住民がお互いに学び合い、心触れ合う社会参加の実現を目的に実施した。<br>サークル活動（４団体）<br>・陶芸サークル　・白神サークル<br>・書道教室　　・茶道教室 |
| 42 | 図書活動事業 | 公民館<br>岩崎分館 | 3 | 3 | 4 | 図書室の利用を促進し、地域住民に対して読書普及に努めた。<br>コミュニティバスを利用して文学館へ足を運ぶようになったため、貸出図書数が減少した。<br>蔵書冊数：６，２３１冊<br>貸出図書数：　　３冊<br>蔵書を文学館のものと定期的に入れ替えする等により貸し出しの増加を図る。 |
| 43 | 社会文化会館の施設利用 | 公民館<br>岩崎分館 | 3 | 5 | 4 | 社会文化会館は、各種講座・教室の他に各種会議の会場や「レッツふかうら南児童クラブ」開設場所として「視聴覚室」を開放するなど広く活用されている。地域のニーズが大きいことから今後も継続する。<br>レッツ利用者（児童）：４，４８４人<br>その他延利用者数　：２，６４４人 |
| 44 | ふれあいと創造の館の施設活用 | 公民館<br>岩崎分館 | 3 | 5 | 4 | ふれあいと創造の館は、サークル活動や各種教室をはじめ、大規模な説明会等幅広く活用されている。<br>宿泊施設でもあることから自衛隊の訓練や、避難所としての機能も兼ねており、総合的なニーズがあるため施設の維持管理に努める。<br>延利用者数：２,５６８人 |
| 45 | 文化祭作品展事業 | 公民館<br>大戸瀬分館 | 3 | 4 | 4 | 感染症対策のため、各種催し事を行わず作品の展示だけを執り行い実施。<br><br>深浦町公民館大戸瀬分館文化祭作品展<br>令和6年11月2日（土）～3日（日）<br>入場者数：376人<br>【内容】<br>展示物：593点<br>出品者数：１6団体、9個人 |
| 46 | 歴史民俗資料館運営事業 | 歴史民俗資料館 | 3 | 5 | 4 | 縄文時代から近代の歴史、民俗、自然、考古の郷土資料の常設展示により、文化の薫り高い町の促進に努めた。特別展については、「あおもり旅ものがたり」をテーマに、県立郷土館との連携展を実施した。<br>常設展「深浦町出土土偶」、底引き網「久六島の模型」展示のほか菅江真澄が若狭屋、小浜屋に残した金花香油の効能の資料を展示した。 |
| 47 | 歴史教室開催事業 | 歴史民俗資料館 | 3 | 5 | 4 | 町内小学校２・３学年を対象に、郷土の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、郷土への興味と理解を深めるため実施した。<br>昭和期の生活用具や民具について説明し、現代のものと比較し、当時の人びとの暮らしを学習した。引率を含め３９人の利用があった。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 達成度・・１＝未達成 | ２＝期待以下 | ３＝ほぼ達成 | ４＝期待どおり | ５＝期待以上 |
| 必要度・・１＝低い | ２＝やや低い | ３＝普通 | ４＝やや高い | ５＝高い |
| 方向性・・１＝廃止・休止 | ２＝縮小 | ３＝整理統合 | ４＝継続 | ５＝拡大 |

## 令和６年度　教育委員会事務事業点検及び評価表

| No. | 事　務　事　業　名 | 担当係 | 達成度 | 必要度 | 方向性 | 総合点検及び評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 48 | 美術館運営事業 | 美術館 | 3 | 5 | 4 | 美術館で所蔵する絵画等を展示する「常設展」と、県内外で活躍する作家の「企画展」を開催し、芸術にふれる機会を提供した。企画展アドバイザーの助言により、「小野裕正絵画展」（むつ市）、「福岡昇油彩画展」（板柳町）を開催し、４６３人が来場した。 |
| 49 | 絵画コンクール開催事業 | 美術館 | 3 | 5 | 4 | 町内小中学校児童生徒に自由テーマで作品を募集し、子どもたちの感性や創造力を育むことを目的に実施した。<br>小学校１６８点、中学校９２点の応募があり、審査員２名により審査を行い、入賞者には賞状と記念品を贈り、広報ふかうらに掲載した。<br>作品は２月１日～２月２８日まで美術館で展示し、広く町民に展覧した。 |
| 50 | 文学館運営事業 | ふかうら文学館 | 3 | 3 | 3 | 深浦町の文化・観光の拠点として、「太宰治」、「成田千空」各氏の書簡や色紙及び深浦にゆかりのある文人の資料等を展示し、深浦町の薫り高い文化を町内外へ周知し、利用促進に努めた。<br>町民文化事業への支援としては、俳句・川柳の会への会合場所の提供をするなど活動支援を行った。 |
| 51 | 図書活動事業 | ふかうら文学館 | 3 | 4 | 4 | 資料の充実を図るため、図書を計画的に購入し、12,235点図書を揃え来館者に提供した。<br>（購入118冊、寄贈72冊）<br>館内は利用者の利便性を考慮し、児童図書室には赤ちゃん絵本コーナー、廊下には一般書のうち比較的高頻度で利用される料理や家庭医学関連の書籍を集めたコーナーを設置するなどして工夫した。<br>また、県立図書館はじめ県内外の公共図書館との相互貸借を通し、利用者の希望する資料を提供できるよう努めた。<br>乳児と保護者を対象としたブックスタート事業、及び親子で読み聞かせ推進事業を開催した。 |
| 52 | 子ども司書養成講座事業 | ふかうら文学館 | 3 | 4 | 4 | 読書の輪を広げるために、本好きな子どもたちを読書リーダーに養成する講座。<br>本の知識や図書館の仕事等を学んでもらい、読書活動の推進と学校図書館の活性化を図ることを期待して開設。対象者は小学４～６年生。<br>実施期間：令和６年７月23～26、30、31日<br>参加人数：５名（深小4年2名、6年1名、いわ小5年1名、修小6年1名）<br>会　　場：ふかうら文学館<br>内　　容：座学及び五所川原市立図書館見学 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 達成度・・１＝未達成 | ２＝期待以下 | ３＝ほぼ達成 | ４＝期待どおり | ５＝期待以上 |
| 必要度・・１＝低い | ２＝やや低い | ３＝普通 | ４＝やや高い | ５＝高い |
| 方向性・・１＝廃止・休止 | ２＝縮小 | ３＝整理統合 | ４＝継続 | ５＝拡大 |